全日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

平成30年2日25日

全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントン選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第５章第28条～32条を適用し、シードは団体戦・個人戦それぞれ原則として次の通りとする。

【団体戦の組み合わせ基準】

１．次の①～③により、１－16までシードする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする。

①前年度本大会のランキング２位以内をランキングによりシードする。

②前年度本大会のランキング４位以内、８位以内をそれぞれ抽選によりシードする。

③その年度開催の東日本学生バドミントン選手権大会・西日本学生バドミントン選手権大会のランキングにより抽選でシードする。 東西の順番は抽選で決める。

２．各地区から推薦により出場している大学のうち、各地区下位9校（関東・関西；各下位2校、北海道・東北・中部・中四国・九州；各下位1校）から抽選により8校を8シード下に順次入れる。（8シード1回戦の対戦改善）

※団体：32校；本戦　東日本インカレ8校・西日本インカレ8校

　　　　　　 ；推薦　各2校（北海道・東北・中部・中四国・九州）

　　　　　　 　　　　各3校（関東・関西）

３．以降自動抽選。

※1回戦は、東西の対戦となるように考慮する。また、昨年度と同一対戦は避ける。

※4ブロック内での地区バランス、特に参加校数が少ない地区のバランスを優先的に

　考慮する。

※関東と関西の地区バランスは、極端な偏りを除き原則として考慮しない。

【個人戦の組み合わせ基準】

１．次の①～⑥により、１－32までシードする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする。

①前年度本大会のランキング2位以内をランキングによりシードする。

②前年度本大会のランキング4位以内、8位以内をそれぞれ抽選によりシードする。

③直近の日本ランキング16位以内をランキングによりシードする。

④その年度開催の東日本学生バドミントン選手権大会・西日本学生バドミントン選手権大会の8位以内をランキングによりシードする。東西の順番は抽選で決める。

⑤直近の日本ランキング32位以内をランキングによりシードする。

⑥その年度開催の東日本学生バドミントン選手権大会・西日本学生バドミントン選手権大会の32位以内をランキングによりシードする。東西の順番は抽選で決める。

２．各地区から推薦により出場している選手のうち、各地区の参加人数の比率を基に、下位から「関東５名・関西３名・中部２名・北海道・東北・中四国・九州各1名の計14名」を選出し、抽選により8名を順次8シード下に入れる。

３．以降自動抽選

４．日本バドミントン協会の要請で各種大会に派遣される場合及びその他の特別な理由により、当該選手が上記シード基準①～⑥に適応されない場合は、そのシードについて考慮する場合がある。

★1回戦は、東西の対戦となるように考慮する。また、昨年度と同一対戦は避ける。

★4ブロック内での地区バランス、特に参加校数が少ない地区及び参加人数の少ない

大学のバランスを優先的に考慮する。

★関東と関西の地区バランスは、極端な偏りを除き原則として考慮しない。

以上

【組み合わせ会議の効率化】

※大会の主管学連は、組み合わせ会議当日までに「組み合わせ原案を3案：団体戦は16シード、個人戦は32シード、自動抽選まで作成；可能ならダブルスパートナー分け」準備し、会議当日はその3案から「抽選」で最終案を選出し、その最終案を基に自動抽選後の★印等を調整して組み合わせを確定する。

※抽選はコンピュータでランダム関数を使用してもカードやダイス等を使用しても数学的確率は同等である。

　➡原案作成方法（ランダム関数orカード）は主管学連の判断による。

※主催学連である全日本学連は、レフェリー等サイン入りの原本をコピーした副本を各地区学連に配布する。